

KWL-E (連通管式変位計)

アレスタ内蔵

容量
100mm

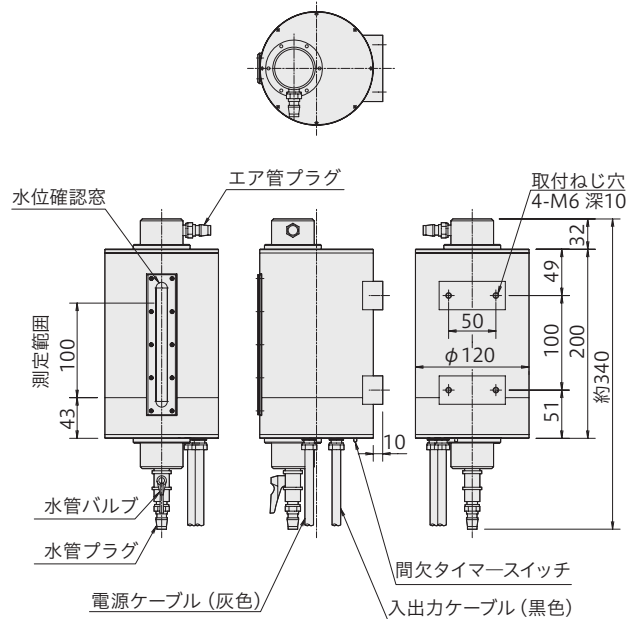
橋梁の桁のたわみ量や盛土の沈下量を
不動点に設けた基準水槽と連通管で
接続した水槽の水面変化で測定

- 優れた温度安定性
- 防滴構造
- 自動測定

外観寸法図



単管は取付イメージです。
付属はしません。



橋梁をはじめとする土木構造物において、垂直方向の変位量を測定する変位計です。不動点に設けた基準水槽との間を連通管で接続し、水槽内の水面を基準として変位量を測定します。変位計内部には、サーボ機構により常に水面を検出して追尾する検出子と、検出子の移動量を電気的に変換する回路を備えています。これらにより、構造物の変位は変位計に対する基準水面の相対変位として測定されます。測定には当社製データロガーが用いられ、多点の自動測定がおこなえます。基準水面の検出にサーボ機構を用い、さらに回路の安定性を高めたことにより、長期間にわたって安定した測定が可能です。(アレスタ内蔵)

保護等級 IP 54相当

仕様

型名	KWL-100E
容量	100mm
定格出力	約1mV/V(2000×10 ⁻⁶ ひずみ)
非直線性	0.5%RO
許容温度範囲	0～+50℃(氷結を除く)
入出力抵抗	350Ω
推奨印加電圧	2V以下
許容印加電圧	10V
入出力ケーブル	φ9mm 0.5mm ² 4心シールド クロロブレンケーブル 3m 先端ばら線)
電源ケーブル	φ9mm 0.75mm ² 4心シールド ビニールケーブル 3m 先端ばら線
電源	AC100V 50/60Hz 6VA MAX
質量	約4.0kg

上記の他、特注品も製作致しますのでご相談ください。